

津島市行政評価システムについて

1 基本理念

- 市民の視点に立って、より質の高い行政サービスを提供し、成果重視の計画的・効率的な行政運営に努めます。
- 地域づくりの担い手としての市民のまちづくり意識を高め、まちづくりのパートナーとして市民の行政への参画を図ります。

市民満足度の向上

行政活動の質の向上

市民参画型行政の推進

2 導入目的

- 行政評価の実施によって、「部課長の経営・組織運営能力の強化」「効率的・効果的な行財政運営」、「総合計画の進行管理」、「市民への説明責任の向上・行政の透明性の向上」、「職員の意識改革」の実現をめざします。

① 部課長の経営・組織運営能力の強化

- ・市を経営する立場に立って、戦略的な部の運営を行うため、また、部長方針に基づく戦略的な課の運営を行うために不可欠な部課長の経営・組織運営能力を強化するとともに、その内容を公にすることで部課長のなすべきことを明確にします。

② 効率的・効果的な行財政運営

- ・成果を目標とする「成果志向」の視点に立って行政運営を推進します。
- ・実際に効果や成果が上がっているかどうかを重視し、限られた資源（人材、物資、財源、時間）をより有効に活用します。
- ・成果に基づきコストを客観的に評価することで、行政サービスの重点化、再編に結びつけ、限られた経営資源を有効活用するとともに、財政の健全化を図ります。

③ 総合計画の進行管理

- ・評価の実施を基本とするマネジメントサイクルの定着により、効果的・効率的な計画を推進し、実効性のある総合計画とします。

④ 市民への説明責任の実現・行政の透明性の向上

- ・「何のために」、「何をしようとしているのか」、「成果はあがったのか」を市民に対してより具体的に分かりやすく説明する責任を果たします。
- ・市民と情報を共有し、市民とのコミュニケーションを重視します。
- ・行政に対する信頼性（「不正をしないという信頼」から「成果をあげているという事実による信頼」へ）を高めます。

⑤ 職員の意識改革

- ・市民が本当に求めているサービスとは何かを原点に立ち返って見つめ直し、市民の視点に立った行政への転換を図ります。
- ・「市民が見ている」ということを自覚し、意欲と責任を持って職務に取り組みます。
- ・目的志向、顧客志向、成果志向といった経営的観点から仕事を見つめ直し、職員のコスト意識、マネジメント意識を醸成し、政策形成能力の向上を図ります。
- ・マネジメントサイクルを確立し、各職員が改善の効果を確認することで更なる改善への意欲を高められる職場風土を醸成します。
- ・行政内部で情報を共有し、事業の選択や組織の改革に活用します。